



2016 9/21 (水)

18:00 - 19:30

名古屋大学減災館 1階減災ホール

予約不要
入場無料

地球温暖化が進むと台風は強まるのではないかと懸念されています。東海地方に接近・上陸する台風はどのような規模になるのでしょうか？また、そのような台風が最悪の進路で名古屋港に接近した場合、高潮はどのような規模になるのでしょうか？地球温暖化と台風との関係について解説すると共に、将来の台風災害に対する防災・減災のありかたについて考えます。



岐阜大学大学院 工学研究科
環境エネルギーシステム専攻 准教授

吉野 純

主催：名古屋大学 減災連携研究センター

★お問い合わせ：TEL: (052) 789-3468

※講演の撮影・録音はご遠慮ください。

※駐車場はありません。必ず公共交通機関をご利用ください。

地球温暖化時代の 台風災害とその 対策

